

寄席で元気をもらおう

東日本大震災チャリティー・一味園慰問

10月3日に、南富良野笑って元気寄席の会（代表曾慶一介）による『がんばれ！東日本』チャリティー南富良野笑って元気寄席』が保健福祉センターみなくるで開催されました。

同会では、東日本大震災の被災地への応援と日頃生で親しむ機会の少ない文化や芸術を生で楽しんでもらおうと行われ、集まった約160名の皆さんは4組による生の寄席を堪能しました。はじめに「ホームラン」のお二人に

よる漫才が行われた後、桂文生師匠の落語、アサダ二世によるロープやトラップを使った手品では来場者とユーモアあるトークを交えながら行われ、笑いに包まれました。最後は、金原亭伯楽師匠による落語が行われ会場は拍手に包まれました。

今回の寄席の入場料の益金は、東日本大震災の義援金に充てられました。また、この日4組の皆さんは、公演前に特別養護老人ホーム一味園を慰問され、「一味園特別お笑い寄席」が行われました。

限られた時間での慰問になったことから漫才・手品の後、両師匠は二人でステージに立ち、会場の皆さんと会話を交えながら落語を披露し、利用者の皆さんは、楽しいひと時を過ごしていました。



△落語を披露する金原亭伯楽師匠



△一味園慰問で手品を披露するアサダ二世さん



10月3日に、南富良野町公民館と子育て支援ボランティアサークルWISH（戎家麻紀代表）の共催による「子ども絵本まつり」が保健福祉センターみなくるで開催され、来場者は絵本の醸し出す世界を楽しみました。同まつりは昨年続き2回目の開催で、今年は北海道立図書館などが蔵書している約900冊の様々な絵本を、大型絵本やしかけ絵本などジャンル別にコーナーに分けて展示し、訪れた子

絵本の世界を探検

公民館図書館「子ども絵本まつり」



どもたちは大きい絵本や仕掛けに歓声を上げ、絵本に囲まれながら、手にとって読んでいました。

絵本の展示のほか、絵本のリサイクルとして、事前に集めた不用になった絵本を、希望者に無償で配布したり、講演会では、芽室町在住で写真絵本作家の小寺卓矢氏を講師に招き、「森に息づくいのちの繋がり」をテーマに、著書のスライド上映による読み聞かせなどが行われました。

また、小学生の参加者による読み聞かせなども行われ、読む楽しさ・聞く楽しさを味わい、絵本の世界を満喫していました。

大神 裕全さん（幾寅） 人権擁護委員に再任



9月30日をもって人権擁護委員の任期が満了となった大神裕全さんが10月1日付けをもって法務大臣から引き続き委嘱されました。

人権擁護委員は、近隣との争い、借地、借家、不動産売買、金銭貸借、いじめ、体罰などの相談に応じます。

相談は無料で、個人の秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

沢田 正人さん（幾寅） 教育委員に再任



9月30日をもって町教育委員会委員の任期が満了となった沢田正人さんが再任されました。

沢田さんは、9月27日に開催された第3回町議会定例会において、同委員の任命の同意が得られ、10月1日付けをもって池部町長から辞令が交付されました。

町危険廃屋解体撤去費補助金制度 が創設されました。

詳しくは、町広報10月号本編または町ホームページをご覧ください。
申請窓口・問い合わせ先 役場企画課企画振興係 ☎52-2115

シリーズ 学校だより (106)

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶ 幾寅小学校 ▶▶▶



校内マラソン記録会
去る9月9日に「校内マラソン記録会」が晴天のもとで行われました。
児童たちは、不順な天候が続く中、体育の授業や休み時間などを活用して自分の計画した練習を行い、目標を設定して記録会に臨みました。当日は、児童たちの健闘に対して、保護者、地域の皆様から熱いご声援をいただきました。運営にご協力をいただきましたPTA役員の皆様、交通安全指導員の皆様に厚くお礼申し上げます。

交通安全街頭啓発運動
9月22日、6年生による交通安全啓発運動が物産センター駐車場において行われました。
あいにくの雨天でしたが、児童たちは、交通安全を呼びかけたメッセージ（手紙）とともに、今年JAより寄贈いただいたじゃがいも、玉ねぎ、人参をドライバーの皆さんに手渡し安全運転をお願いしました。児童たちも交通安全に対する意識が高められたことと思えます。



ご協力いただきましたJA、交通安全協会、富良野警察署、幾寅駐在所長の皆様、たいへんありがとうございました。